

取組事例 17

協同組合福井ショッピングモール



団体概要

所在地 : 福井県福井市

会員数 : 48事業所

事業内容 : 福井県最大のショッピングモールとして
地域のコミュニティ機能を果たす役割を担う
施設を管理運営しています

申請年度 : 令和6年度



活用の 背景と目的

地元中小事業者らが開発した福井県最大のショッピングモールを運営管理していますが、昨今の少子高齢化や働き方改革の影響で人手不足が長く続いています。既存の従業員は一生懸命勤務していただいています。今後も勤務を継続するためには体と心がともに健康でなければならないと考え、本事業を活用させていただきました。

申請するまでの流れ

時期	実施したこと
令和6年度分申請	
令和6年12月	福井県中小企業団体中央会から紹介を受け、申請
令和7年1~2月	保健師による個別保健相談・治療と仕事の両立支援個別相談会・店長向け集合研修を実施

会員に提供するサービスの内容

令和6年度実施内容

- アンケート回答に基づく個別保健相談等を実施（リーフレット裏面の申請サービス④）

構成員48社約400名の従業員を対象に健康に関するアンケートを実施し、相談を希望する78名（延べ人数）に保健師による個別面談を実施しました。内容としては、ストレスチェックに基づく健康相談をはじめメンタルヘルス支援、治療と仕事の両立支援等多岐にわたりました。

前述内容をふまえ従業員を預かる店長向けの研修として、42名に対し集合研修を開催しました。内容は従業員アンケート結果による状況を基に注意配慮が必要な項目を重点的に対応策を伝えるとともに、店長本人も同様に注意が必要であることを伝えました。

参加者からは、立ち仕事が多いことでの共通した悩みや、健康診断は受診しているもののその結果を放置することが多かったが、今回保健師に相談できる機会を得て大変助かったとの意見がありました。

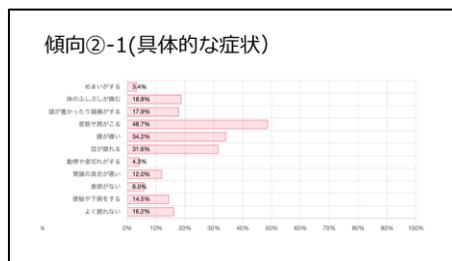
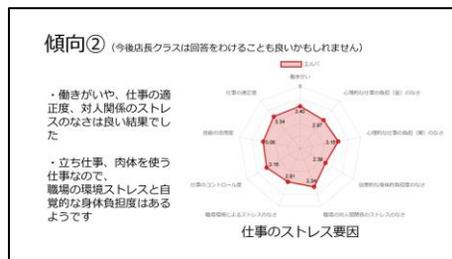


セミナー当日の様子

エルパさんにおける
企業看護師・保健室の取り組み

“暮らしのなかで看護を”

 ALLINUS
イリナス



取組の成果

本事業において保健師による相談会を実施したところ多くの方が参加しました。構成員企業はいずれも中小商業者らであり自社で保健師に依頼することは難しい状況であるため、構成員企業の従業員にとって非常に有意義であったとの喜びの声が多く寄せられた。

申請に当たり苦勞した点

本助成金を初めて申請することとなったため、対象となる事業が否かの判断が難しく、且つ本補助金の存在を知ったのが申請締切り間際だったため準備に時間がなかったこと。

これから申請を検討している団体へのアドバイス

とても有意義な補助事業であるので、申請要項などを早めに取得することで事業内容をしっかりと構築し、十分な効果が得られるよう活用することで、人手不足の中頑張っている従業員を一人でも多く健康に働いてもらえるような事業になるよう願っています。

